

1. 教育方針・ポリシーに関する用語

大学の教育理念や、学生にどのような成長を期待しているかを示す重要な指針です。

三つのポリシー（3つの方針）	大学運営の核となるディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの3つの方針をまとめた総称のことをいいます。
ディプロマ・ポリシー	愛知東邦大学の教育理念を踏まえ、どのような力を身に付ければ学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをいいます。
カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施するのかを定める基本的な方針のことをいいます。
アドミッション・ポリシー	愛知東邦大学だけでなく、各学部等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、入学者を受け入れるための基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果を示すものをいいます。
学士課程方針	どのような能力を身につけて卒業してもらおうかなど、大学教育全体の指針のことをいいます。上記ディプロマ・ポリシー等を含みます。

2. 入試・選抜に関する用語

受験の仕組みや手続きに関する用語です。

総合型選抜入試	面談や書類を通じて、大学の求める像と受験生の意欲・適性を照らし合わせて合否を決める入試です。
学校推薦型選抜入試	高校（中等教育学校含む）時代の活動実績や成績をもとに、学校長の推薦を受けて受験する入試です。
一般選抜入試	当日の筆記試験による得点を主な基準として、受験生の実力を客観的に評価し合否を決める入試です。
特別選抜入試	社会人、帰国生、留学生など、特定の背景を持つ人を対象とした選抜枠のことです。
専願	合格したら、愛知東邦大学に入学することを前提とした出願のことです。
併願	他の大学と同時に受験することをいいます。
募重人員・入学定員	「募集人員」は入試ごとの定員、「入学定員」は学部全体の年間受け入れ合計人数のことをいいます。
入学手続締切日	入学金等の納入期限のことをいいます。この期限を過ぎると入学辞退とみなされるため注意が必要です。

3. 学内での学び・制度に関する用語

入学後の授業等に関する用語です。

カリキュラム	教育内容を一覧化したものです。教育課程とも呼ばれます。
履修	登録した科目の授業を受けることです。
履修登録	自分で履修したい授業科目を登録することです。
シラバス	科目の授業内容が記されたものです。概要、到達目標、授業計画、成績評価基準などを確認することができます。
単位	学修に要する時間を表す基準です。
単位制度	科目を履修し、学修状況および試験またはレポートなどによる成績評価の結果、合格することによりその科目の単位を修得する制度です。1 単位につき 45 時間の学修を必要とすることを基本としていますが、授業形態により基準が異なります。
GPA	GPA (Grade Point Average) とは、科目ごとの成績評価を点数にかえて、全履修科目の平均を算出するものです。
学年暦	大学の 1 年間の予定行事・授業期間・試験期間・休暇期間などが定められたスケジュール表です。
学期 (セメスター)	2 学期制のことです。本学では前期 (4 月-9 月) と後期 (9 月-3 月) です。
アクティブ・ラーニング	一方向性による知識伝達型の学習方法ではなく、学生の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称のことを言います。学生が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図ります。
副専攻制度 (修了認定プログラム)	複数の学部をもつ愛知東邦大学の強みを活かした制度です。自学部での学修だけでなく他学部の専門分野についても学修するプログラムを提供し、幅広い視野をもつ学生を育成します。
単位互換制度	単位互換制度とは、他の大学で開講される科目の履修を可能にし、またその科目で獲得した単位を愛知東邦大学の単位として認定する制度です。
教職課程	教員免許を取得するために必要な課程のことです。 愛知東邦大学では、中学校教諭 (保健体育) 小学校教諭・幼稚園教諭ならびに保育士資格取得を目指す教育学部、中学校教諭 (保健体育) ならびに高等学校教諭 (保健体育) 取得を目指す人間健康学部があります。
科目等履修生制度	社会人等に学修の機会を拡大する制度で、科目単位での履修が可能です。科目等履修生として修得した単位は、大学または短期大学入学後にその大学で修得したものとして認定されることがあります。
インターンシップ	「就業体験」ができるインターンシップ制度。現場での体験を通じて「社会で働く」ことを考え、アルバイトとは異なる「働き方」を知る絶好の機会です。職業選択の重要性を認識し、組織の果たす役割を理解します。

4.大学運営に関する用語

大学に関する用語です。


ガバナンス・コード	大学が健全に運営されるための自主的な行動指針やルールのことをいいます。本学では「日本私立大学協会 私立大学ガバナンス・コード<第 2.0 版>」に準拠し、同コードに対する遵守（実施）状況について自ら点検し、その結果を公表しています。
自己点検・評価	大学等が、自己の目的・目標に照らして教育研究等の状況について点検し、優れている点や改善すべき点などを評価し、その結果を公表するとともに、その結果を踏まえて改善向上を行っていくという質保証の仕組みのことをいいます。学校教育法において、その活動が義務化されており、高等教育の質保証は一義的に大学等自らが主体的に行うものという点が示されています。
認証評価	文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）が、大学、短期大学及び高等専門学校等の教育研究等の総合的な状況等について、各認証評価機関が定める大学評価基準に基づき行う評価ことをいいます。大学等は政令で定められた期間ごとに自ら選択した認証評価機関による認証評価を受けることが義務付けられています。
後援会	主に学生の保証人で構成された組織です。「愛知東邦大学後援会」としては、積極的な後援会活動を広い分野にわたって展開し、本学における教育・研究活動及び学生の課外活動等に援助するため、様々な取り組みを行っています。

5.愛知東邦大学独自の名称

本学独自のプログラムです。

東邦 STEP	公務員試験対策や資格取得、SPI 対策などを学内でサポートする、独自のキャリアアップ講座のことです。
じぶんブランディング	自分を知り、自分を磨くことをテーマにした自己成長や未来につなげる独自の体感型教育プログラムです。入学前に行うプログラムの他、卒業後のキャリアを考えるプログラムを用意しています。
アドバンスプログラム	進学を考える「受験生」を対象とした、入試の準備と自分を振り返るプログラムです。プログラムの中では、ガイダンスで自分と向き合う他、個人面談を実施します。教職員と一緒に受験に関する悩みを解決していきましょう。

用語説明（五十音順）

用語	説明
オフィスアワー	<p>授業科目等に関する質問相談に応じる時間として、教員があらかじめ示す特定の時間のことです。</p> <p>具体的な時間は、右記の二次元バーコードをスマホで読み込んでください。</p> 
オムニバス授業	同一科目を複数の教員で行う授業です。
オンデマンド授業	メディア授業の方法の1つです。授業教材（動画コンテンツなど）を配信することにより、実施します。自分の好きなタイミングで受講することが可能です。（曜日・時限の設定がありません。）
オンライン授業	メディア授業の方法の1つです。Teams のビデオ会議機能などを利用して、リアルタイムで実施します。
開設科目全域	<p>総合教養科目と専門科目の中から自由に選択する科目です。</p> <p>総合教養科目と専門科目の卒業要件を満たした上で、8 単位以上修得する必要があります。</p>
学生用ページ	大学生活を充実させるための情報を集約したサイトです。
学年暦	大学の1年間の予定行事・授業期間・試験期間・休暇期間などが定められたスケジュール表です。
学期（セメスター）	2 学期制のことです。本学では前期（4 月-9 月）と後期（9 月-3 月）です。
カリキュラム	みなさんがこれから学んでいく教育内容を一覧化したものです。教育課程とも呼ばれます。
仮進級要件	進級要件を満たさない場合、2 年次から 3 年次に仮進級するための条件です。仮進級した場合、3 年次から 4 年次に進級するための条件があります。
期末試験	授業がすべて終了した後に、定められた期間で実施する試験です。
休講	授業を休みにすることです。
研究室	<p>教員及び学生が特定のテーマについて研究を行う場所のことです。</p> <p>それぞれの教員が研究室を持っているため、教員に用事があるときは研究室に行きましょう。</p>
再試験	不合格（30 点～59 点）だった場合に申請を行えば受験可能な試験です。
GPA	GPA（Grade Point Average）とは、科目ごとの成績評価を点数にかえて、全履修科目の平均を算出するものです。
集中講義	短期間に集中的に開講される科目です。主に、土曜日や夏期・春期の長期期間中に開講されます。
授業内試験	授業中に実施する試験です。
シラバス	科目の授業内容が記されたものです。概要、到達目標、授業計画、成績評価基準などを確認することができます。
進級要件	2 年次から 3 年次に進級するための条件です。

用語	説明
成績調査依頼	成績について疑義がある場合は、申し出ることができる制度です。
選択科目	必修科目、選択必修科目以外の科目で、卒業に必要な単位として集計される科目です。
選択必修科目	指定された科目の中から所定の単位を修得しなければならない科目です。
専門科目	各学部・学科の教育目的に即して開講される科目です。
総合教養科目	全学部・全学科の学生に共通して開講される科目です。
卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	大学全体、所属する学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位を授与するのかを定めた方針です。
卒業要件	本学を卒業するための条件です。
対面授業	教室（対面）で実施する授業です。一部の授業をメディア授業で行う場合があります。
単位	学修に要する時間を表す基準です。
単位制度	科目を履修し、学修状況および試験またはレポートなどによる成績評価の結果、合格することによりその科目の単位を修得する制度です。1 単位につき 45 時間の学修を必要とすることを基本としていますが、授業形態により基準が異なります。
Teams	学習管理システムです。メディア授業（オンライン授業・オンデマンド授業）を受講することができます。また、対面授業でも活用される場合があります。
追試験	やむを得ない理由により期末試験を受験することができなかった場合に、別の日程で受験することができる試験です。
TOPOS	学生生活をサポートするポータルサイトです。大学からのお知らせ、出欠席、時間割、成績を確認できます。
配当年次（学年配当）	学修する科目を年次（学年）ごとに定められているものです。
必修科目	卒業するまでに必ず単位を修得しなければならない科目です。
補講	休講になった場合や授業の進捗状況により実施する授業です。
メディア授業	学内の教室以外の場所や自宅などインターネットが利用可能な環境において、受講することができる授業です。オンライン授業とオンデマンド授業の 2 つがあります。
履修	登録した科目の授業を受けることです。
履修登録	自分で履修したい授業科目を登録することです。
履修登録単位数の上限 (キャップ)	履修登録できる単位数の上限を定めていることです。2025 年度入学生は 24 単位です。